

2009年4月1日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

「羽田辰男先生のご遺志による寄付金贈呈式」のお知らせ

岐阜県における人権擁護運動の第一人者であり、本学客員教授の羽田辰男先生が、昨年10月、ご逝去されました。本学はこれまで、羽田先生から多額のご寄付を賜り、「羽田基金」を設立し、運営してきました。羽田奨学金をはじめ、羽田文庫、羽田福祉賞、福祉機器の整備・充実などを通じて、福祉分野の教育・研究に多大な貢献をしていただきました。この度、本学の学生に深い愛情と声援を送り続けていただいた羽田先生のご遺志により、寄付を賜ることになりました。つきましては、下記の日程で、寄付金贈呈式を執り行います。贈呈式には、故羽田先生のご遺志を託された森川幸江弁護士より目録を頂戴します。

記

- 日 時 2009年4月6日（月） 午前10時から同11時
- 場 所 中部学院大学・中部学院大学短期大学部 関キャンパス グレースホール
（関市桐ヶ丘二丁目1番地）
- 贈呈者 森川幸江 弁護士
- 参加者 中部学院大学短期大学部 学 長 片桐多恵子
中部学院大学短期大学部 専攻科長 飯尾良英
同科新入生22名 教職員ほか
- 予 定 片桐多恵子学長 挨拶ならびに御礼
学生代表 決意表明
森川幸江弁護士 激励のお言葉

以上

【羽田辰男氏 略歴】

1958（昭和33）年、福岡地検検事になり、70年、岐阜地検検事を退官後、岐阜市に法律事務所を開設。県庁汚職事件など刑事事件の弁護士としてらつ腕を振るった。80年から26年間、人権擁護委員県連合会長を務め、人権擁護中部連盟会長、全国人権擁護委員連合会副会長も歴任。89（平成元）年、私財を投じて県人権擁護啓発機構を設立し、各界の著名人が寄稿する冊子「岐阜の人権」を毎年出版。人権大賞を贈呈するなど人権擁護、啓発活動に尽くした。中部学院大学に「羽田奨学金」「羽田文庫」を設け、福祉関係者の育成を支援した。2002（平成14）年、岐阜新聞大賞社会事業賞を受賞。08年から本学客員教授。享年80歳。

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 事務局（担当：事務局次長 田口） TEL:0575-24-2211（関キャンパス）